

# 県内、がれき広域処理完了へ

## 岩手の「静岡方式」全国波及 2町分

東日本大震災で発生した震災がれきのうち、岩手県山田、大槌両町の木くずの広域処理が計画より1年早く、2012年度内に

完了する見通しになった。21日までの関係者への取材で分かった。試験焼却で安全性を確かめ、本格受け入れに踏み切る「静岡方式」が

**Q** 震災がれきの広域処理 東日本大震災で大量発生した災害廃棄物のうち、被災地で処理しきれないがれきを全国の自治体が肩代わりして処理する取り組み。静岡県は被災地支援に当たった岩手県山

田、大槌両町の木くずを集約的に受け入れる計画を表明した。政府は当初、本県に7万7千トンの処理を要請したが、がれき量の精査で要請量は2012年8月、約3分の1の2万3500トに減った。

田、大槌両町の木くずを集約的に受け入れる計画を表明した。政府は当初、本県に7万7千トンの処理を要請したが、がれき量の精査で要請量は2012年8月、約3分の1の2万3500トに減った。

田市を先頭にして複数の自治体が受け入れ作業に入った。被災地では不燃物や木くず以外は

田市を先頭にして複数の自治体が受け入れ作業に入った。被災地では不燃物や木くず以外は

の可燃物の処理作業は依然として滞っているものの、復興に向けた広域支援の具体的成果が表れた。

の可燃物の処理作業は依然として滞っているものの、復興に向けた広域支援の具体的成果が表れた。

③土砂との混合―などが要因という。現在受け入れている島田、静岡、浜松、裾野の4市のほか、富士市は受け入れに関する住民説明会を今週開き、最後まで広域処理に協力する可能性を探る方針。県は処理計画を一部見直した上で2月上旬、市長会と町村会に状況を説明する。

③土砂との混合―などが要因という。現在受け入れている島田、静岡、浜松、裾野の4市のほか、富士市は受け入れに関する住民説明会を今週開き、最後まで広域処理に協力する可能性を探る方針。県は処理計画を一部見直した上で2月上旬、市長会と町村会に状況を説明する。

## 経団連、定昇凍結も

### 賃下げ示唆表現は削除

経団連は21日、2013年春闘で経営側の方針となる「経営労働政策委員会（経労委）報告」を発表した。2年連続で定期昇給（定昇）の見直しを要する領域にすべきではないという表現は削除し、労使配慮から、原案にあった

政府による静岡県への山田、大槌両町の木くず受け入れ要請量は、従来の2万3500トから大幅に減る見通し。環境省が近く、詳細を公表する。本県は全国に先駆け、県市長会、県町村会が本格受け入れに向けた共同声明を発表し、島

政府による静岡県への山田、大槌両町の木くず受け入れ要請量は、従来の2万3500トから大幅に減る見通し。環境省が近く、詳細を公表する。本県は全国に先駆け、県市長会、県町村会が本格受け入れに向けた共同声明を発表し、島

政府による静岡県への山田、大槌両町の木くず受け入れ要請量は、従来の2万3500トから大幅に減る見通し。環境省が近く、詳細を公表する。本県は全国に先駆け、県市長会、県町村会が本格受け入れに向けた共同声明を発表し、島

政府による静岡県への山田、大槌両町の木くず受け入れ要請量は、従来の2万3500トから大幅に減る見通し。環境省が近く、詳細を公表する。本県は全国に先駆け、県市長会、県町村会が本格受け入れに向けた共同声明を発表し、島